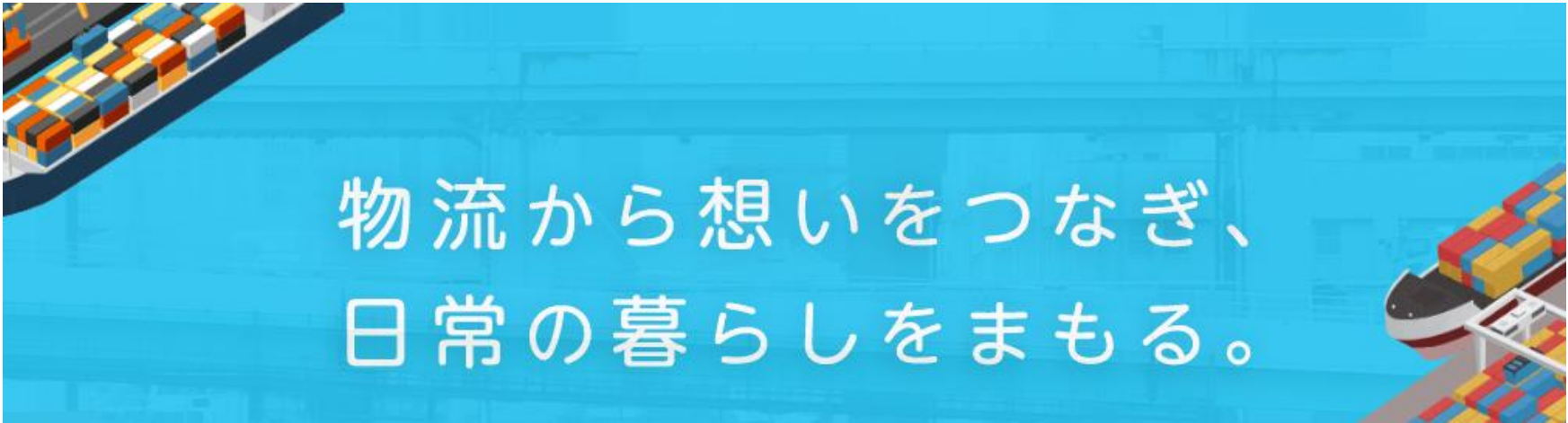




# 2023年3月期 決算説明資料



物流から想いをつなぎ、  
日常の暮らしをまもる。

2023年5月10日

川西倉庫株式会社

---

 **目次**

---

<b>1. 2023年3月期 連結決算の概要</b>	<b>P3 – 12</b>
<b>2. 2024年3月期 連結業績予想の概要</b>	<b>P13 – 20</b>
<b>3. その他のトピックス</b>	<b>P21</b>

# 1. 2023年3月期 連結決算の概要

---



# 1. 2023年3月期連結決算の概要

2023年3月期連結決算の概要 : 前期比で増収、増益で着地

(単位:百万円)

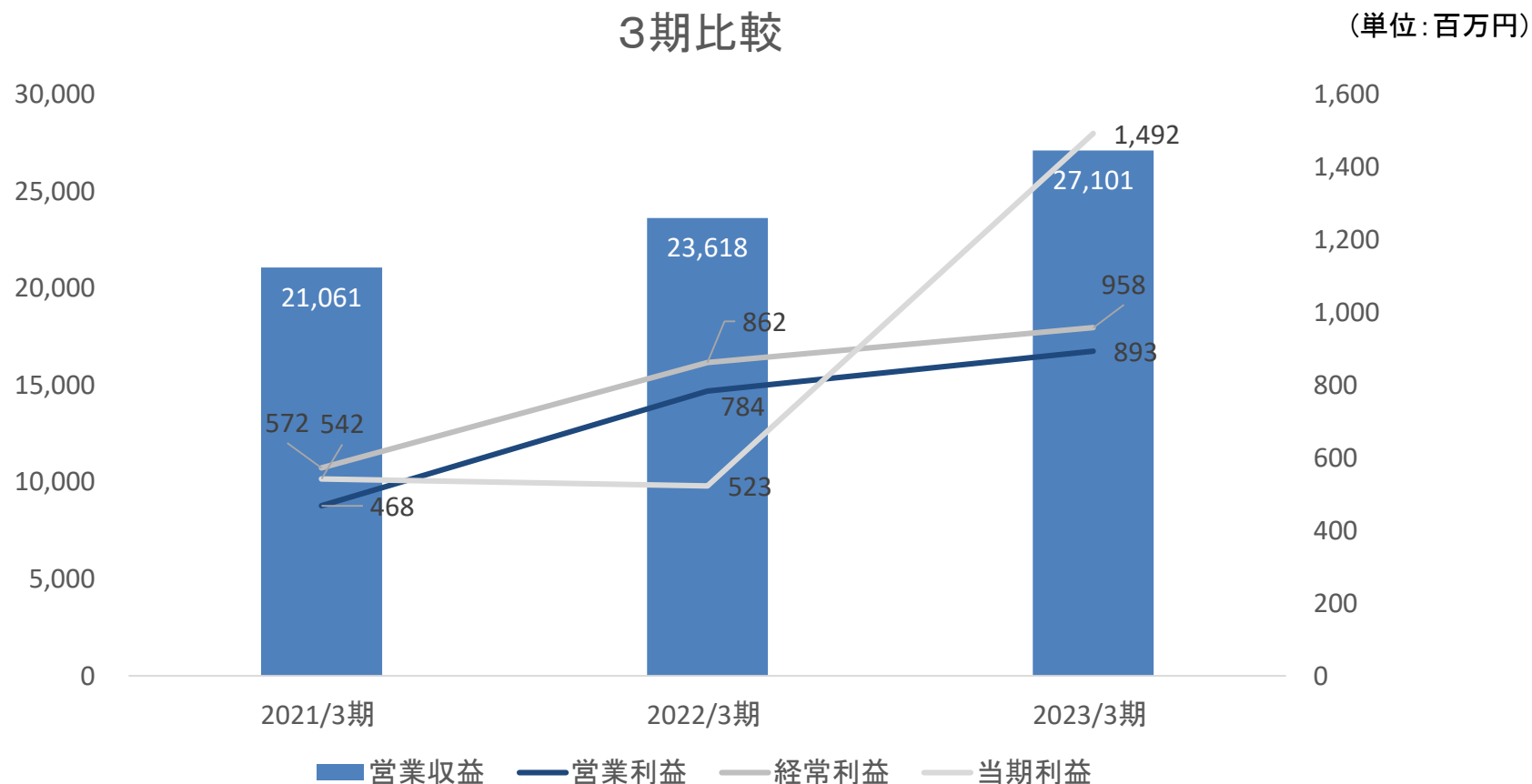
科目	2022/3期 実績	2023/3期		前期比		公表比
		予想 (2/7 公表値)	実績	金額	比率	
営業収益	23,618	26,940	27,107	+3,488	+14.8%	+0.6%
営業利益	784	900	893	+109	+13.9%	△0.7%
経常利益	862	980	958	+95	+11.1%	△2.2%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	523	570	1,492	+969	+185.3%	+161.8%

## 【概況】

- ◆営業収益 : 国内物流事業では、貨物の取扱いが増加し、倉庫、運送、港湾運送の各事業において営業収益が前期に比べ増加。国際物流事業でも貨物の取扱いの増加、為替の影響、海上運賃単価の上昇もあり営業収益が前期に比べ増加し、全体で0.6%の増収
- ◆営業利益 : 貨物の増加に伴う再保管経費の増加、電力費、修繕費等の増加はあったが、営業収益の増加により前年同期比13.9%の増益
- ◆経常利益 : 営業外収益において受取利息は減少したものの営業利益の増加もあり11.1%の増益
- ◆親会社株主に帰属する当期純利益 : 受取補償金等の影響により185.3%の増益



# 1. 2023年3月期連結決算の概要(3期比較)



# 1. 2023年3月期連結決算の概要(セグメント別)

(単位:百万円)

セグメント	科目	2022/3期 実績	2023/3期 実績	前期比	
				金額	比率
国内物流	営業収益	18,481	<b>19,913</b>	+ 1,432	+7.7%
	営業利益	1,304	<b>1,097</b>	△ 207	△15.9%
国際物流	営業収益	4,779	<b>6,814</b>	+ 2,035	+42.6%
	営業利益	300	<b>680</b>	+ 380	+126.7%
その他	営業収益	387	<b>402</b>	+ 15	+4.0%
	営業利益	225	<b>243</b>	+ 17	+7.8%

## 【セグメント別の概況】

### 国内物流事業

◆営業収益： 前期下期より貨物の荷動きが回復し、倉庫業では貨物の残高も高い水準で推移しており、運送取扱業、神戸港での港湾運送業も堅調に推移、また前期開設した横浜の新倉庫についても業績に寄与したことにより7.7%の増収

◆営業利益： 貨物の取扱いが増加したことによる再保管経費の増加、荷役用具費、電力費、修繕費及び新倉庫にかかる償却費の増加等、営業費用も増加したことにより、15.9%の減益

### 国際物流事業

◆営業収益： 昨年から引き続き貨物の取扱いは堅調に推移し、為替や海上運賃単価の影響もあり、また海外での新倉庫の業績も寄与したことにより42.6%の増収

◆営業利益： 営業収益の増加、海外子会社も堅調に推移したことにより126.7%の増益

### その他セグメント

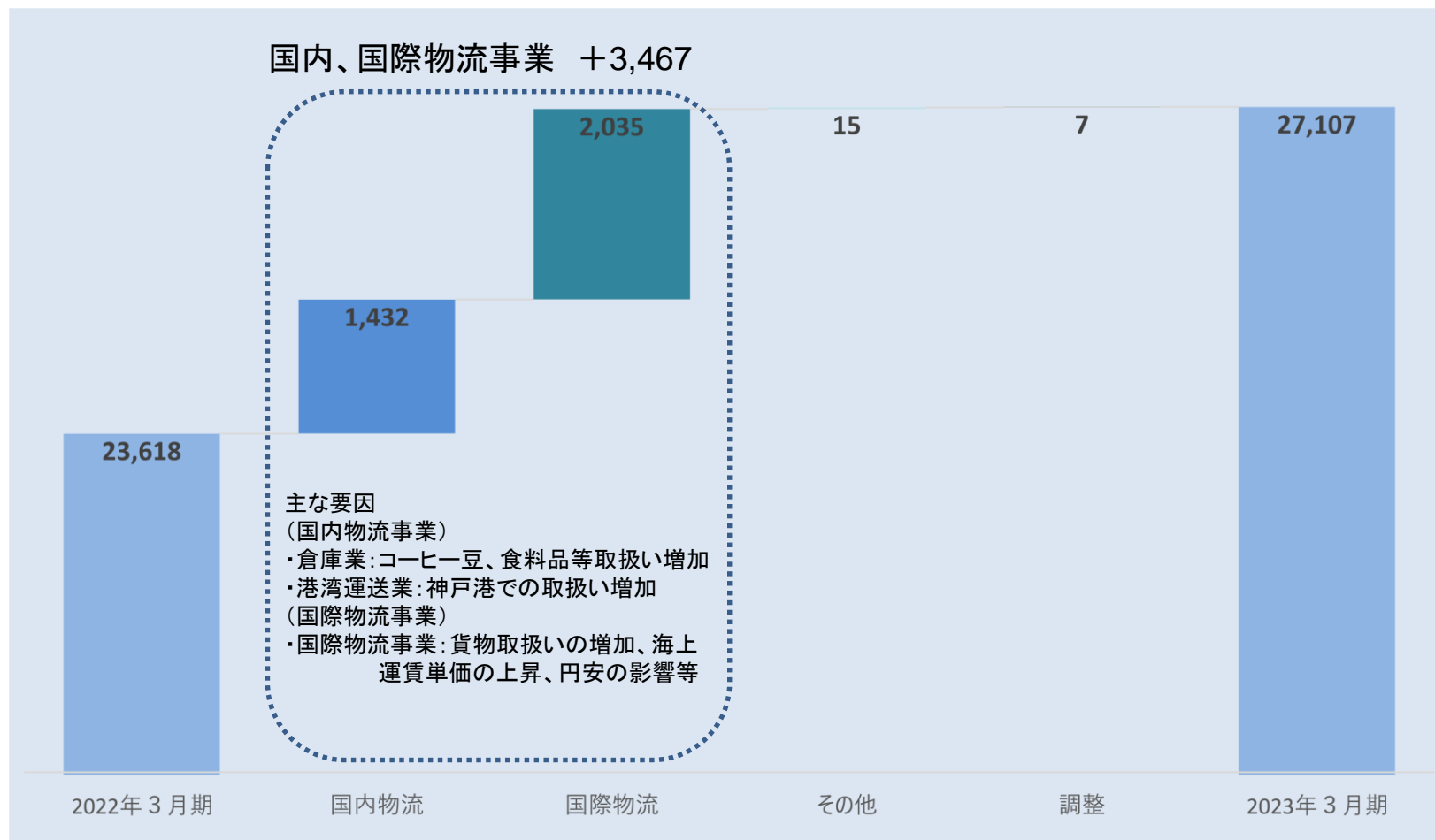
◆営業収益： 物流資材の販売等は減少したが、不動産収入の増加もあり4.0%の増収

◆営業利益： 不動産収入の増加により7.8%の増益



# 1. 2023年3月期 連結決算の概要(セグメント別/営業収益増減要因)

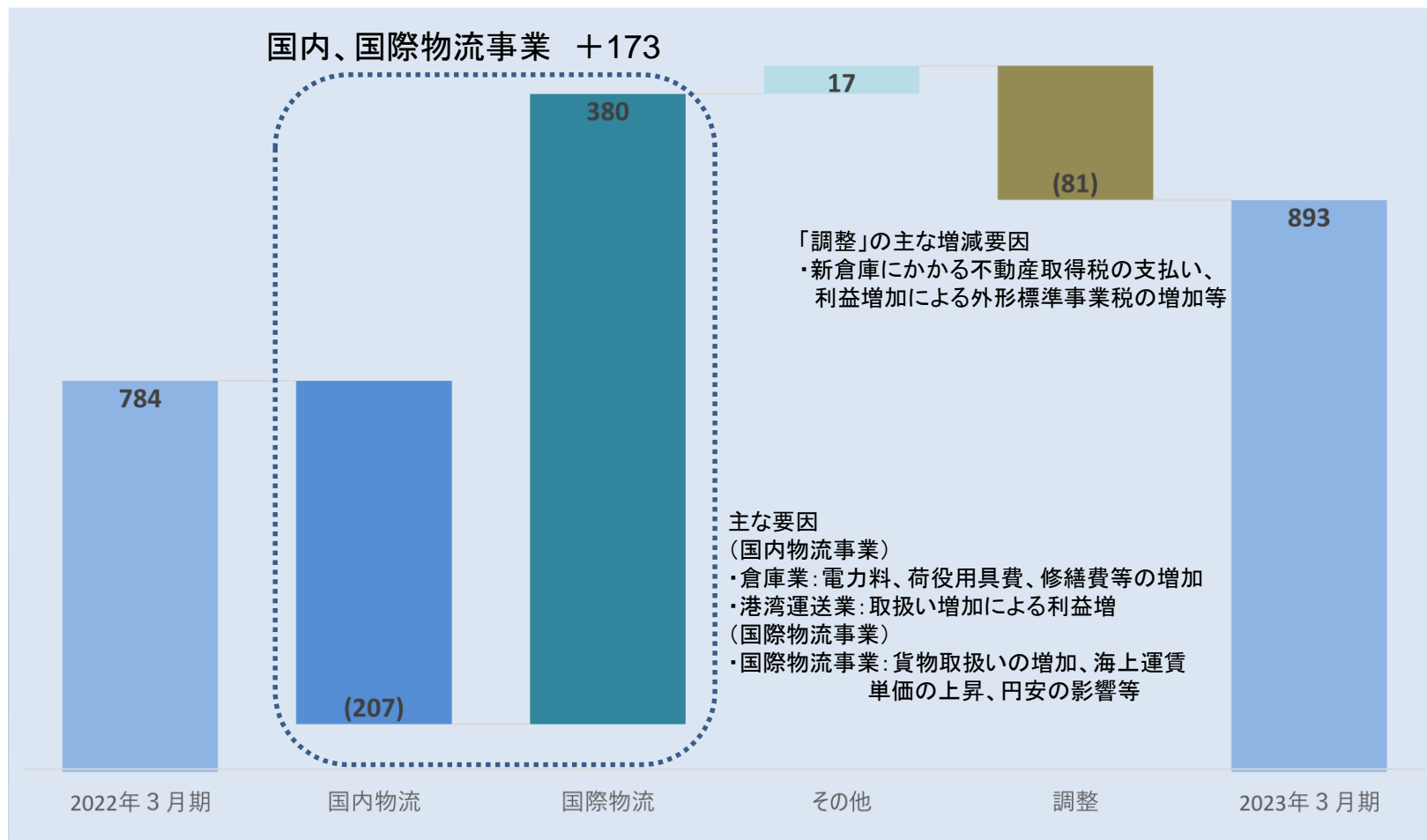
(単位:百万円)





# 1. 2023年3月期 連結決算の概要(セグメント別/営業利益増減要因)

(単位:百万円)



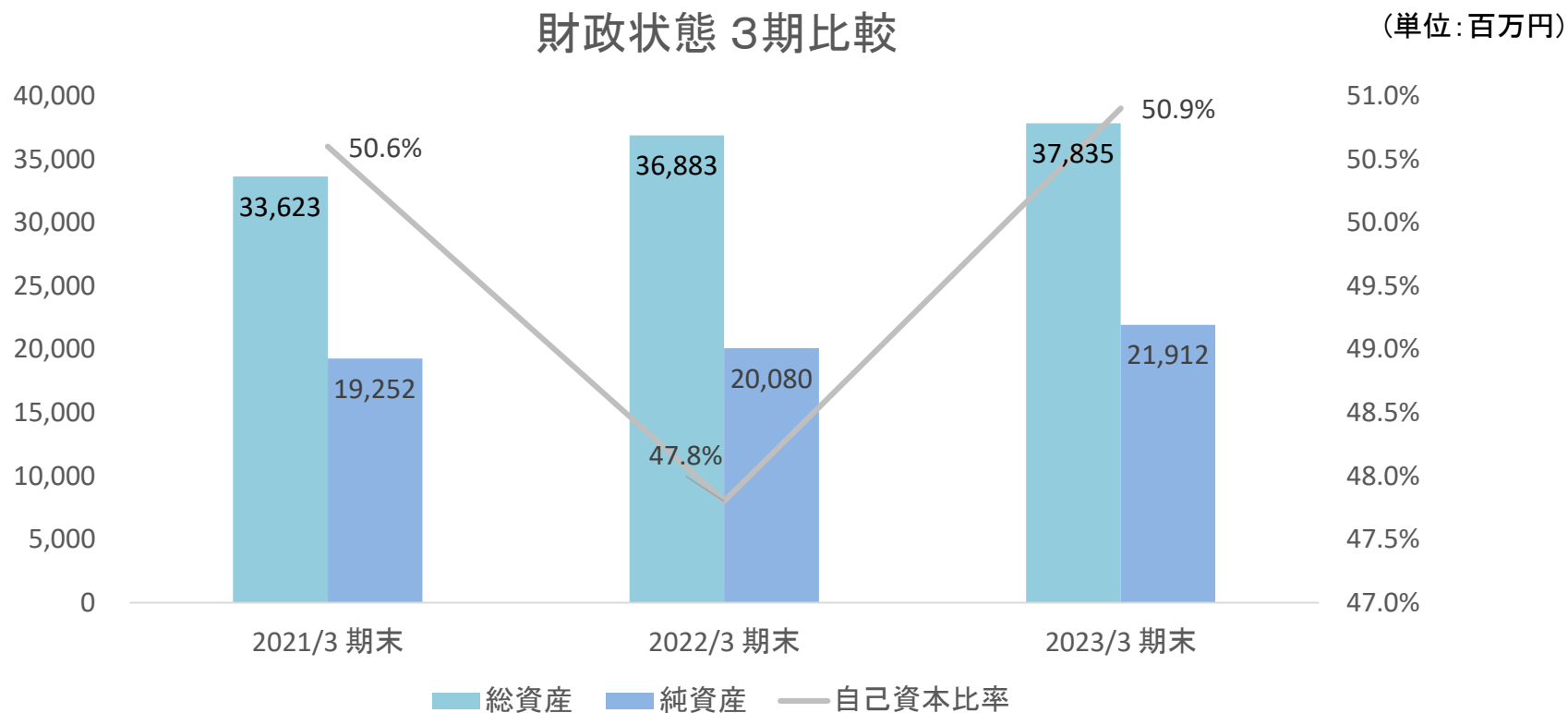


# 1. 2023年3月期 連結決算の概要(財政状態)

(単位:百万円)

	前期末 2022年 3月31日	当期末 2023年 3月31日	前期末比 (金額)	増減内容
総資産	36,883	<b>37,835</b>	+951	当期利益や税金の還付等により「現金及び預金」が増加
負債合計	16,803	<b>15,922</b>	△880	当期利益の増加により「未払法人税等」が増加したものの「長期借入金」、「固定負債その他(長期預り金)」等が減少
純資産	20,080	<b>21,912</b>	+1,832	当期利益による「利益剰余金」が増加したほか、円安により「為替換算調整勘定」および「非支配株主持分」が増加
自己資本比率	47.8%	<b>50.9%</b>	+3.1P	

# 1. 2023年3月期 連結決算の概要(財政状態/3期比較)



## 【概況】

◆自己資本比率 : 22/3期末 → 3.1ポイント改善 (負債の減少、自己資本の増加)



# 1. 2023年3月期 連結決算の概要(損益計算書項目別①)

(単位:百万円)

科目	2022/3期 実績	2023/3期 実績	前期比	増減要因
営業原価	20,553	<b>23,568</b>	+3,015	
うち下払作業費	3,195	<b>3,343</b>	+147	貨物取扱量の増加に伴い増加
運送費	9,751	<b>11,389</b>	+1,637	貨物取扱量の増加に伴い増加
再保管料	1,002	<b>1,403</b>	+401	貨物取扱量の増加に伴い増加
減価償却費	959	<b>1,080</b>	+120	前期及び当期稼働の新倉庫にかかる償却費の増加
その他	2,252	<b>2,750</b>	+497	「荷役用具費」、「電力費」、「修繕費」等の増加



## 1. 2023年3月期 連結決算の概要(損益計算書項目別②)

(単位:百万円)

科目	2022/3期 実績	2023/3期 実績	前期比	増減要因
販売費及び 一般管理費	2,281	<b>2,644</b>	+363	人員の増加等による「報酬及び 給料手当」の増加、利益の増加 による「租税公課」(外形標準事 業税)の増加、その他業務委託 費等の増加
営業外収益	134	<b>118</b>	△16	-
営業外費用	56	<b>54</b>	△2	-
特別利益	13	<b>1,771</b>	+1,758	横浜市が行う山下ふ頭再開発事 業による当社京浜支店旧山下営 業所の移転により「受取補償金」 1,763百万円を計上
特別損失	23	<b>452</b>	+429	旧山下営業所移転に伴う「解体撤去 費用」299百万円、旧山下営業所、 その他当社施設等の除却を含む「固定 資産除却損」71百万円、当社営業所 の「減損損失」67百万円等を計上

## 2. 2024年3月期 連結業績予想の概要

---



## 2. 2024年3月期 連結業績予想の概要

2024年3月期予想の概要 : 当期比で減収減益(親会社利益)を見込む

(単位:百万円)

科目	2023/3期 実績	2024/3期 予想	当期比	
			金額	比率
営業収益	27,107	25,670	△1,437	△5.3%
営業利益	893	960	+66	+7.4%
経常利益	958	1,000	+41	+4.4%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,492	590	△902	△60.5%

### 【概況】

- ◆営業収益 : 国内物流事業では、引き続き貨物の取扱いが堅調に推移すると見込むものの、国際物流事業において運賃単価下落の影響等が大きく5.3%の減収見込み
- ◆営業利益 : 国際物流事業では落ち込むと見込むものの、当期に計上した修繕費や荷役用具費、不動産取得税等の経費の減少等の影響により、7.4%の増益見込み
- ◆経常利益 : 受取利息等の営業外収益の減少は見込むものの営業利益の増加もあり4.4%の増益見込み
- ◆親会社株主に帰属する当期純利益 : 当期計上した受取補償金等の影響により60.5%の減益見込み



## 2. 2024年3月期連結業績予想の概要(セグメント別)

(単位:百万円)

セグメント	科目	2023/3期 実績	2024/3期 予想	当期比	
				金額	比率
国内物流	営業収益	19,913	<b>20,051</b>	+ 138	+0.7%
	営業利益	1,097	<b>1,412</b>	+ 314	+28.7%
国際物流	営業収益	6,814	<b>5,235</b>	△ 1,579	△23.2%
	営業利益	680	<b>301</b>	△378	△55.7%
その他	営業収益	402	<b>390</b>	△11	△2.9%
	営業利益	243	<b>249</b>	+6	+2.6%

### 【セグメント別の概況】

#### 国内物流事業

◆営業収益： 当期に引き続き貨物の取扱いは堅調に推移すると見込んでおり、また物流施設の賃貸収益の増加等も業績に寄与するため0.7%の増収見込み

◆営業利益： 電力費等は当期に引き続き高止まりで推移すると見込んでおりますが、営業収益の増加に加え当期に計上した倉庫の修繕費や荷役用具費用等の営業費用の減少により28.7%の増益見込み

#### 国際物流事業

◆営業収益： インドネシアで稼働した新倉庫の業績が寄与すると見込むものの海上運賃単価の下落の影響等もあり23.2%の減収見込み

◆営業利益： インドネシアのプラス要因はあるものの、営業収益減少の影響が大きく、またアメリカに設立した新会社の経費負担等もあり55.7%の減益見込み

#### その他セグメント

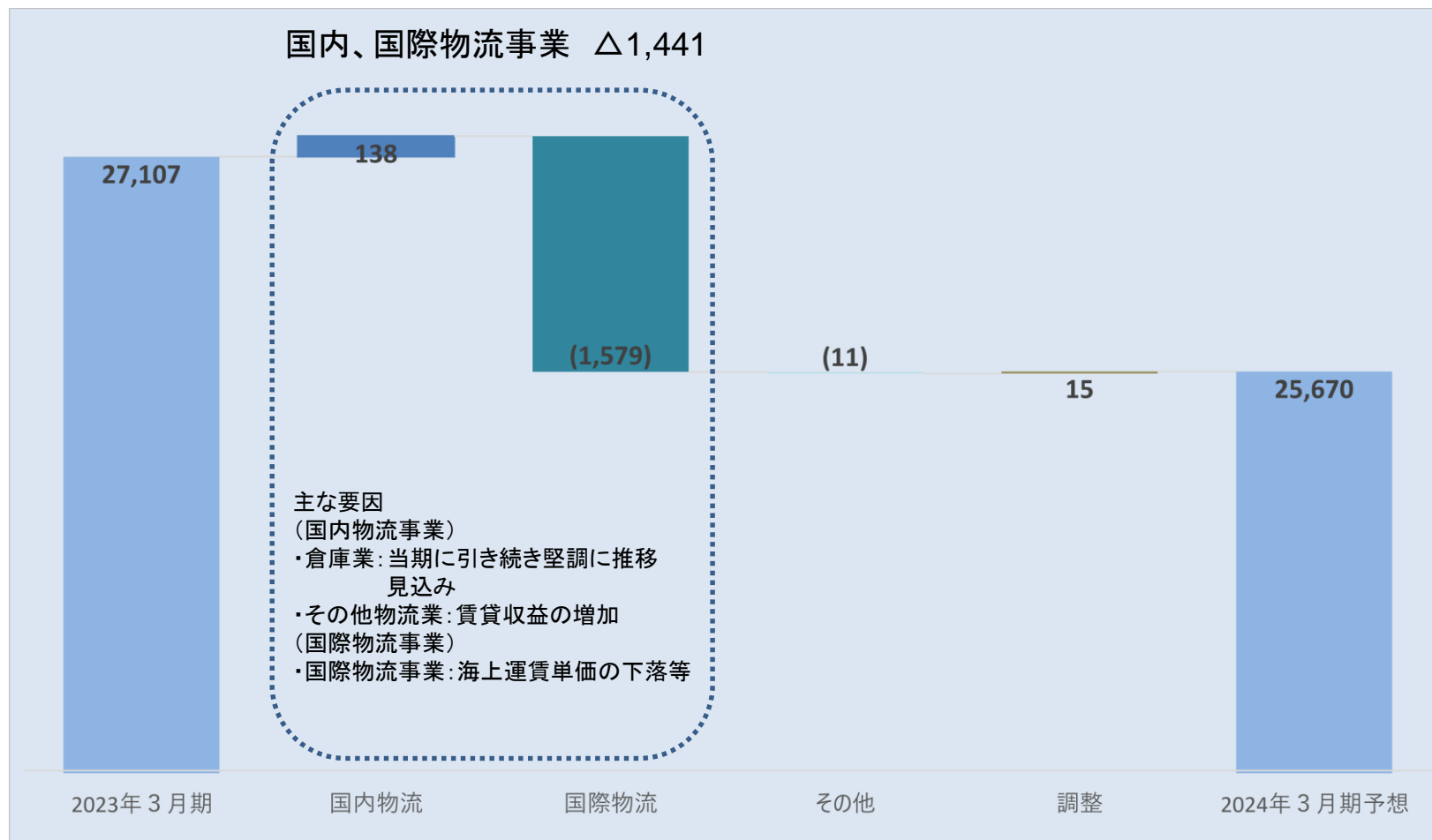
◆営業収益： 不動産収入の増加要因はあるものの物流資材販売の減少により2.9%の減収見込み

◆営業利益： 不動産収入の増加等により2.6%の増益見込み



## 2. 2024年3月期 連結業績予想の概要(セグメント別/営業収益増減要因)

(単位:百万円)

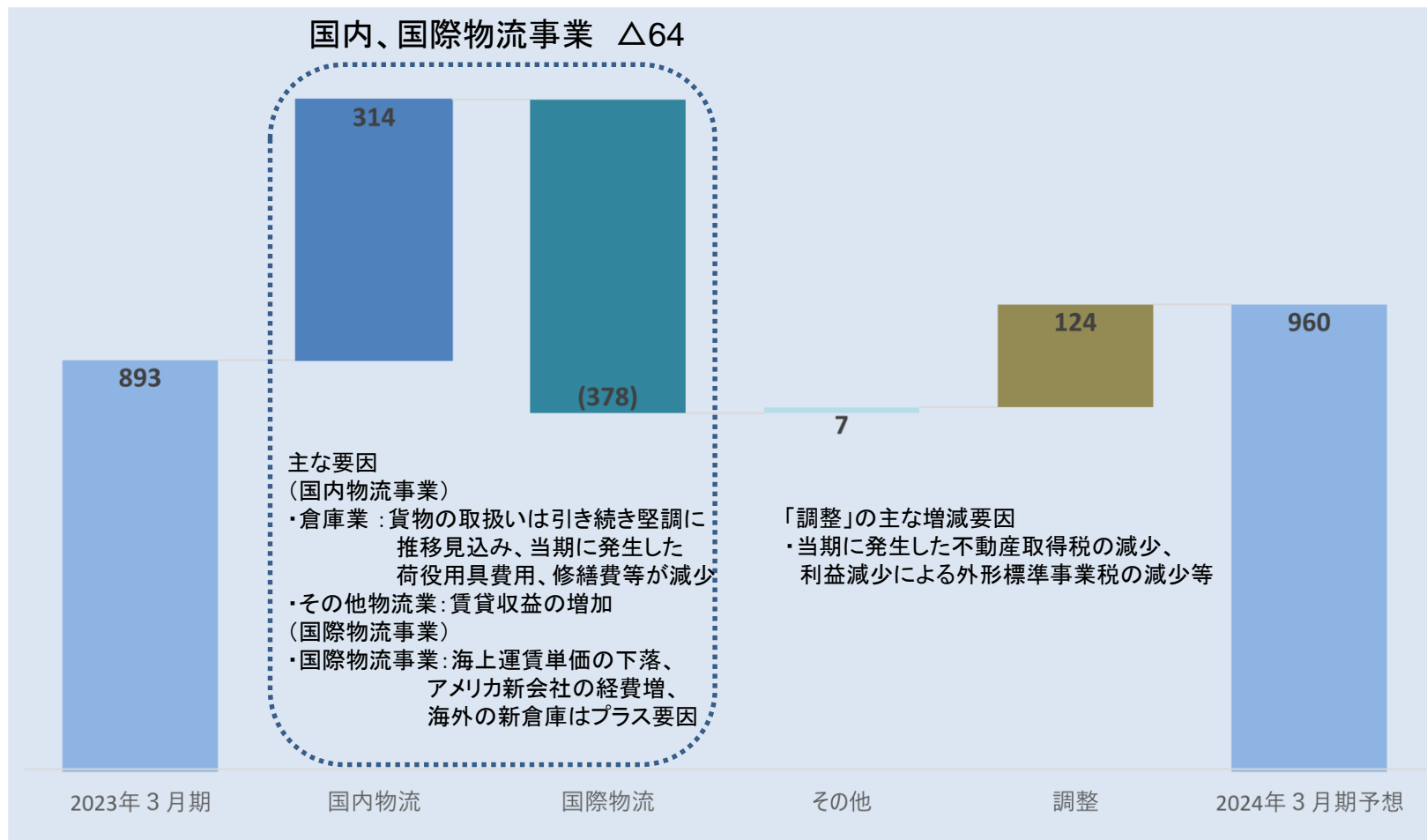






## 2. 2024年3月期 連結業績予想の概要(セグメント別/営業利益増減要因)

(単位:百万円)

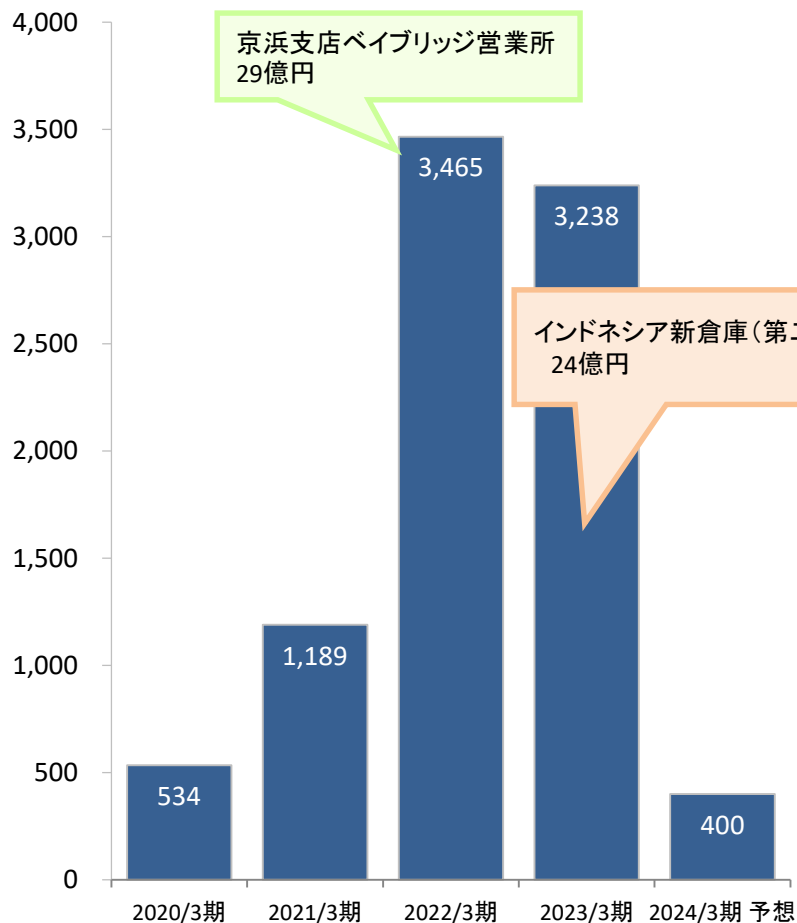




## 2. 2024年3月期 連結業績予想の概要(設備投資・減価償却の推移)

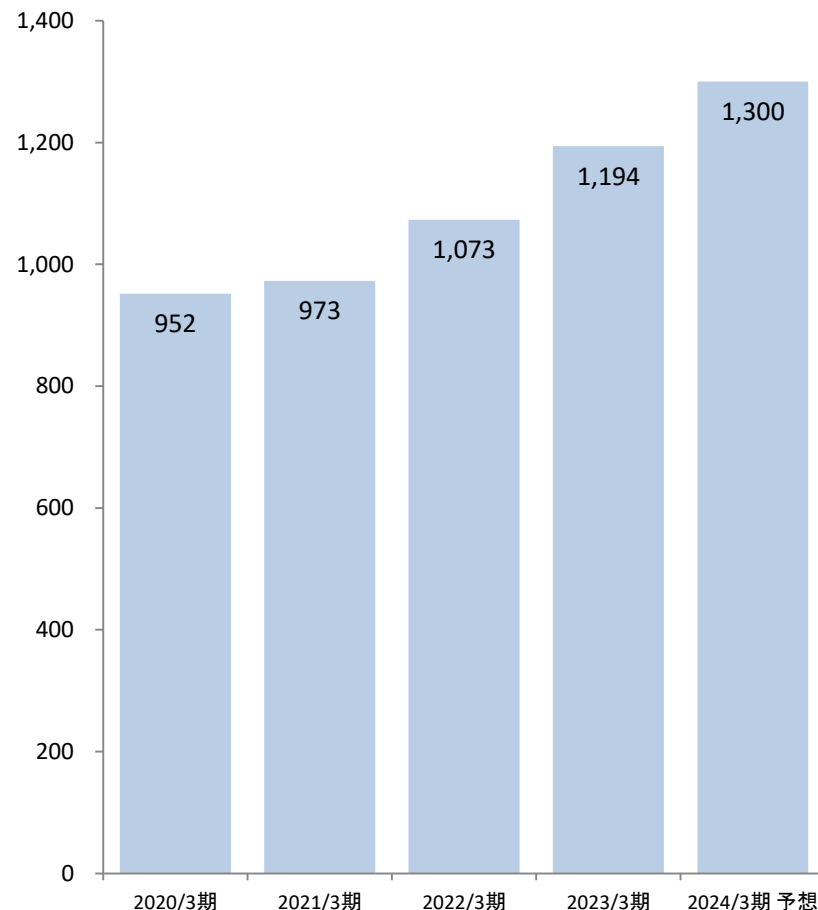
### 設備投資額

(単位:百万円)



### 減価償却費

(単位:百万円)





## 2. 2024年3月期 連結業績予想の概要(設備投資の概要)

2023年3月期実績: 32億円(完成ベース)

### 【主な投資内容】

- ・インドネシア新倉庫建設(第二期)  
24億円(2022年10月開設)
- ・定温機、冷凍機更新 他

2024年3月期計画: 4億円(完成ベース)

### 【主な投資内容】

- ・定温機、冷凍機更新 80百万円
- ・パレタイザー 40百万円 他

## 2. 2024年3月期 連結業績予想の概要(株主還元)

### 配当実績推移

	2019年度 実績	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 予定
中間配当	6.00円	※1. 9.00円	※1. 8.00円	※1. 9.00円	10.00円
期末配当	6.00円	6.00円	6.00円	7.00円	10.00円
年間	12.00円	15.00円	14.00円	16.00円	20.00円
配当性向	37.4%	21.1%	20.4%	8.2%	25.9%

※1. 特別配当含む(2020年度3.00円、2021年度2.00円、2022年度2.00円)

### 株主優待

保有株式数	継続保有期間	基準日	優待内容
100株以上	3年未満	9月末日、3月末日	クオカード 500円分
100株以上	3年以上～5年未満	9月末日、3月末日	クオカード 1,500円分
100株以上	5年以上	9月末日、3月末日	クオカード 2,000円分

対象となる株主様

毎年9月末日および3月末日現在の株主名簿に記載または記録された1単元(100株)以上の株式を保有されている株主様  
(贈呈時期：毎年12月中旬にお送りする「中間報告書」および6月下旬にお送りする「報告書」とともに発送を予定しております。)



### 3. その他トピックス

- ・2022年8月

アメリカ・カリフォルニア州に現地法人

KAWANISHI LOGISTICS (AMERICAS) INC. 設立

業務内容 : NVOCC、フォワーディング、倉庫保管、輸送

※ 業務開始は2023年予定

- ・2022年10月

PT KAWANISHI WAREHOUSE INDONESIA

第2倉庫開設

倉庫概要 : 延床面積 約7,900m<sup>2</sup>(第1倉庫 約5,600m<sup>2</sup>)

冷凍庫2庫、冷蔵庫1庫、荷捌場1室

(第1倉庫の概要 冷凍庫1庫、冷蔵庫2庫、定温庫3庫)

本資料中の業績予想、見通しおよび事業計画についての記述は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、記載された将来の業績を保証するものではありません。